

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

書 写		東京書籍
総 評		<p>姿勢や筆記用具の持ち方について、写真と言葉でいねいに分かりやすく説明している。</p> <p>手本以外にも、児童が実際に書き込める欄や穂先の通り道を確認する欄がある。</p> <p>各学年とも、「生かそう」の欄で、硬筆でその時間の学習課題を他の文字にも生かす欄がある。</p> <p>ページごとに「書写のかぎ」や書写用語を使って、学んだことを話し合う場が設定されている。</p> <p>「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」などのマークを使用するとともに、キャラクターの説明により見通しをもって学習に取り組めるよう工夫している。</p> <p>前学年までの既習事項が多くページで取り上げられており、学習の系統性が分かるようになっている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ たて書きは、左右どちらの手で鉛筆を持って手本をしっかり見ることができる。毛筆についても左利きの児童も用具を扱いやすいように写真で具体的に提示されている。④ ○ 文字の書き方のポイントやふり返りが主体的・対話的な学びに役立つ。③ ○ 該当学年までと該当学年で学ぶ学習事項を学習用語ごとにまとめてあり、系統性をもって取り組めるように工夫している。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書きやすい持ち方」で児童が筆記具の持ち方を自分で確かめられるように、手の絵を児童の目線で描いている。① ○ 文字を正しく書くために、「しょしゃのかぎ」で考えを書く活動を取り入れている。③ ○ 俳句や百人一首が取り上げられており、古典に親しむことができる。③ ○ 筆圧が意識できるように、「ぐっ」「すう」などの言葉を使って説明がされている。⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色調が統一されており、明るい装丁になっている。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の目標に合わせて学習の見通しを立てながら、学習目標が達成できる構成になっている。② ○ ひらがな・かたかな・ローマ字の表が載っている。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年で使用する「すいしょようし」が綴じ込み資料となっており、すぐに使用できる。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年では本書のみ横幅がA4サイズと広く、机の上に広げにくい。①
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

書 写		学校図書
総 評		<p>姿勢や鉛筆の持ち方について、写真やイラストを用いて分かりやすく説明されている。</p> <p>ページの下の部分に、新しい漢字の読み方と書き順が番号付きで示されており分かりやすい。</p> <p>行書などの発展的な学習について触れている。</p> <p>毛筆の最初の指導は、児童の発達段階や特性を踏まえ、横画のみが望ましい。</p>
特に優れている点	1 大阪府教育振興基本計画等との関連	○ 書写学習に興味・関心をもって、主体的に学びに取り組めるようなコラムや資料を取り入れている。③
	2 内容の取扱い	○ 姿勢や筆記具の持ち方が正しいかどうかを、いろいろな角度で配置して児童目線で確認できるようになっている。① ○ 各学年に「書写のふしぎ」が提示されている。用具が作られている過程などが提示されており、児童の興味・関心を引く。①
	3 外的要素	○ 教科書を開いてすぐ使えるように、原寸大の手本がつけられている。②
	4 構成・配列	○ キャラクターを用いて、学習の進め方や学習のポイントが分かるようになっている。①
	5 資料・その他	○ QRコードで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら、意欲的に書写の学習に取り組むことができる。② ○ はがき、封筒、一筆箋など、教科書に直接書き込めるような欄が充実している。① ○ 都道府県名を書く欄などが設けられている。他教科と関連づけながら学習が進められる②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪府教育振興基本計画等との関連	○特になし
	2 内容の取扱い	○四文字の手本が、右に寄り過ぎている。①
	3 外的要素	○書き込みをして、練習するスペースが低学年としては、やや少ない②
	4 構成・配列	○特になし
	5 資料・その他	○新学習指導要領に盛り込まれた「水筆」について、水筆用の用紙が1年生の教科書に添付されていない。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

書 写		教育出版
総 評		<p>鉛筆の持ち方と筆の持ち方の違いが、写真を用いわかりやすく説明している。</p> <p>ページの下の部分に、新出漢字の読み方や書き順が番号で示されており分かりやすい。</p> <p>学習の進め方が図やマークで示されており分かりやすい。</p> <p>部首になる漢字の例を挙げ、形の変化が具体的に説明されており、分かりやすい。</p> <p>漢字の組み立てにおいて、もう少し例示を増やすことが望まれる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 話し合い活動を進めるための視点が示されており、対話的な学習が活発に進む内容となっている。③
	2 内容の取扱い	<p>○ 横書きの「っ」「ゃ」などの平仮名をマス目のどの位置に書くのかまで提示されている。指導者、児童共に文字の書く位置を意識しながら進められるようになっている。④</p> <p>○ 筆使いについて、筆圧が意識できるように、穂先の動きがコマ割で提示されている。②</p> <p>○ 点画の種類について、見開きで提示されている。点画の練習等、学習のふり返し等に活用できる。③</p> <p>○ 点画の長短や接し方、組み立て方に目を向けて正しく整った文字を書くための方法を話し合いながら身に付けられる。③</p> <p>○ 話し合いについて具体的なセリフなどが提示されており、指導者が話し合いをさせやすいような内容になっている。⑤</p> <p>○ 「ふり返ろう」が記入しやすい。⑤</p>
	3 外的要素	○ 写真や挿絵が学びに応じて適切に配置されている③
	4 構成・配列	○ 学習した内容を生活に生かすことができるように、具体的な書写活の場面を多く掲載している。②
	5 資料・その他	<p>○ QRコードで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら練習できるようになっている。②</p> <p>○ 水筆用の用紙の色が、緑を基調とした色になっている。実際に書いたときの文字が見やすいようになっている。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 特になし
	3 外的要素	○ 手本の文字に、ややバランスが崩れているものがある。②
	4 構成・配列	○ 教科書に書き込む分量が少ない。他の練習用紙やノートを用意する必要がある。①
	5 資料・その他	○ 特になし

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

書 写		光村図書出版
総 評		<p>筆記用具の持ち方や姿勢の説明にもQRコードがついており、わかりやすい。</p> <p>部首になる漢字の例を挙げ、形の変化が視覚的に示されており、分かりやすい。</p> <p>シールを使って学ぶなど、部分の組み立て方について工夫して示してある。</p> <p>児童が間違えやすい書き方を提示し、どうすればよいか具体的に考えられるようになっている。</p> <p>児童が実際に書き込める欄や穂先の通り道を確認する欄がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 誤った文字を提示することで、文字の大きさ、点画等について導入で話し合いの場をもち興味・関心をもたせる工夫がされている。③
	2 内容の取扱い	○ 「文字の配列」の項目で、ノートの手書き方が取り上げられており、児童が日常生活に生かしやすい工夫がされている。③ ○ 筆使いについて、筆圧が分かりやすいように書かれている⑤
	3 外的要素	○ 手本の文字が大きくて見やすく、書きこみのマス大きさも学年に応じたものになっている。② ○ ユニバーサルデザインに関して、視覚支援が必要な児童に配慮して、書きこむ所の回りに色づけしており、書く場所がわかりやすくなっている。④
	4 構成・配列	○ ひらがな・かたかな・ローマ字の表が載っている。①
	5 資料・その他	○ QRコードで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら練習できるようになっている。② ○ 水筆用の用紙が小さめである。児童が収納しやすく、出し入れが容易であるように思われる。① ○ 書写ブックがついており、これまでの学習に振り返り等に活用できる。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 特になし
	3 外的要素	○ 特になし
	4 構成・配列	○ 学んだことをどのように発展的に生かしていくかの教材が不足している。②
	5 資料・その他	○ 特になし

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第3地区）

書 写		日本文教出版
総 評		<p>どの学年にも綴りこみとして、最初に書写学習の流れがイラストを用いて、わかりやすく示されている。</p> <p>姿勢が保てるように「写真」の合言葉がイラスト入りで分かりやすく示されている。</p> <p>「①考える」「②たしかめる」「③いかす」が学びの順序を示していて分かりやすい。</p> <p>場に応じた書き方や書く速さの違いを考えさせるよう工夫されている。</p> <p>イラストや合言葉を用いて、穂先の通り道がわかりやすく提示されている。</p> <p>部首になる漢字の例を挙げ、形の変化が視覚的に示されており、分かりやすい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各単元の中で、目標に沿った着眼点が提示されているので主体的に学習を進めることができる。③
	2 内容の取扱い	○ どの学年も指でなぞる文字が大きく、筆順を確かめやすい。② ○ 書き順に色別の番号が付けられていたり、短い言葉でも説明が添えられていたりしており、意識しやすい工夫がされている。③（3年 P. 21） ○ 文字の組み立てごとに色分けされている。③
	3 外的要素	○ 児童が好む色を表紙に使い、書写の教科書に親しみをもてるような工夫がされている。①
	4 構成・配列	○ 単元ごとに学習の流れが、「めあて」～「生かす」までの3段階で示されていて、児童が授業の流れを意識しながら、効果的に学習を進められるようになっている。①
	5 資料・その他	○ QRコードで、資料や動画が閲覧できるようになっている。タブレット等で児童が確認しながら練習できるようになっている。② ○ 水筆用の用紙が大きい。児童が手本をもとにして、筆順などを確かめながら文字を書く練習を行うことに適している。また、1度に多くの文字を何度も練習するのに適している。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし
	2 内容の取扱い	○ 見出しの文字にゴシック体が使われており、文字指導導入期の低学年には適していない。
	3 外的要素	○ 特になし
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ 書き初めの四文字の手本が、名前のスペースをとっているため、文字の配置が右に寄っている。（6年 P. 29～31）①